

令和6年度 第3回浄水地域会議 会議録

■ 日時 令和6年7月10日(水) 午後7時 ~ 8時

■ 場所 浄水交流館 大会議室

■ 出席者

<委員>	石川 須美子	石崎 里美	勝野 房則
	加藤 耕助	久世 正敏	桑原 正明
	佐竹 修	成瀬 博文	三浦 律夫

<交流館> 水野 小百合(浄水交流館 館長)

<事務局> 松下 誠(地域支援課 副課長) 田嶋 優俊(地域支援課 担当長)
伴 悠平(地域支援課 主査)

■ 内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 浄水地域の課題の選定について

■ 議事内容(要約)

3 浄水地域の課題の選定について

2グループに分かれて前回の地域会議で抽出した課題から提言すべき内容を3つ以内で選定し、各グループで発表を行った。内容は別紙のとおり

■ 今後の予定

令和6年度第4回浄水地域会議

8月7日(水) 午後7時 ~ 浄水交流館大会議室にて

<発表内容>

●A グループ

<選定した課題>

1. 高齢化による担い手不足の解消

理由：浄水地域には若年層が多くいるにも関わらず、自治区によっては高齢化が進み、担い手が少ない地域があるため。地域としては自治区の区域割の見直し等の解決策を検討する必要がある。

2. 高齢者の移動手段の確保

理由：駅までの距離が遠く、移動手段が少ない地域においては、高齢者の外出機会の減少、免許返納率の低下による交通事故リスク増加の可能性があるため。

3. 不安全箇所への対応の検討

理由：人通りが少なく暗いなど、歩行者にとって、安心とは思えない場所があり、地域住民が行きたいところに安心して行けるように不安全箇所への対応が必要であるため。

●B グループ

<選定した課題>

1. 若い力と高齢者の力の連携を深める

理由：多世代が連携することにより、相乗効果が生まれ、多くの地域課題の解決に寄与すると考えられるため。

2. 防犯力の強化

理由：暗い歩道が多く、交番が地域に設置されていないため、防犯力が弱いと考えられるため。ただし、多世代の連携が強化されれば、防犯力の強化にもつながると考えている。

3. 防災力の強化

理由：災害時において、地域の避難場所確保だけでなく、他地域の受入箇所になる可能性があり、避難時の受け入れを想定しておく必要があるため。